

総務委員会会議録

日時 令和4年12月16日（金） 開会時間 午後 3時14分
閉会時間 午後 4時 3分

場所 委員会室棟 第1委員会室

委員出席者 委員長 卯月 政人
副委員長 桐原 正仁
委員 桜本 広樹 鷹野 一雄 古屋 雅夫 笠井 辰生
宮本 秀憲 河西 敏郎 小越 智子

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

スポーツ振興局長 塩野 開 スポーツ振興課長 渡辺 一秀
県民生活部長 小林 厚 県民生活総務課長 望月 等
男女共同参画・共生社会推進統括官 染谷 光一
男女共同参画・共生社会推進監 宮下 つかさ
リニア未来創造局次長 安藤 明範 リニア未来創造・推進課長 鎌田 秀一
総務部長 市川 康雄 総務部理事（次長事務取扱） 関 尚史
総務部次長（人事課長事務取扱） 佐野 満 財政課長 高橋 直人
庁舎管理室長 今井 康善
公安委員会委員 堀内 拓三 警察本部長 伊藤 隆行
総務室長 平井 親一 会計課長 清水 高博

議題（付託案件）

第232号 令和4年度山梨県一般会計補正予算第1条第1項歳入歳出予算の補正額及び歳入歳出予算の総額並びに同条第2項歳入各款及び歳出中総務委員会関係のもの、第3条債務負担行為の補正中総務委員会関係のもの並びに第4条地方債の補正

審査の結果 付託案件について、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 午後3時14分から午後3時39分まで、途中休憩をはさみ、午後4時2分から午後4時3分までスポーツ振興局、県民生活部、男女共同参画・共生社会推進統括官、リニア未来創造局、総務部、警察本部関係の審査を行った。

主な質疑等 スポーツ振興局、県民生活部、男女共同参画・共生社会推進統括官、リニア未来創造局、総務部、警察本部関係

※第 232 号 令和4年度山梨県一般会計補正予算第1条第1項歳入歳出予算の補正額及び歳入歳出予算の総額並びに同条第2項歳入各款及び歳出中総務委員会関係のもの、第3条債務負担行為の補正中総務委員会関係のもの並びに第4条地方債の補正

質疑

(電気料の高騰に対応する経費について)

桜本委員 今回、それぞれの部が、電気料の高騰ということで補正ということではありますが、例えばガソリン、あるいは灯油、重油、そういった値上げ幅については、どういうことを全体的に考えているのでしょうか。

高橋財政課長 今、委員から御指摘がありましたとおり、ガソリン価格などについても値上がり、起こっていることは事実でございます。

一方で、既定経費の中で予算上の措置ができていない部分もございますので、そういったものについては、まずは既定経費の中から執行していくという考え方でございます。

電気料金につきましては、値上げ幅が非常に大きいということと、もともと織り込まれている経費の額自体も大きいものでございますので、今回補正予算を提出させていただいたというものでございます。

桜本委員 例えば、ガソリンや灯油、重油について、各組合というんですか、そういったところと、料金規定というものがあるから、その範囲内でおさまっているのか。その点についてはいかがでしょうか。

高橋財政課長 燃料価格につきましては、一部統一契約で決まっているものもございます。値上がりをしている部分もございますが、当面は今の既定予算の経費の中で対処ができるということでございますので、総じて申し上げますと、値上がりもございますが、予算上は今は確保できていると、こういう状況でございます。

桜本委員 最後にありますが、それでは契約料金の中で、高騰部分が発生すれば、その部分については、また補正を盛るということでよろしいでしょうか。

高橋財政課長 既定経費で不足が生じれば、また補正予算をお願いをすることもあろうかと思えます。

足元の価格をきちんと見ながらそこを判断してまいりたいと考えてございます。

笠井委員 電気料金の高騰ということで、ある程度率で補正の額は、わかってくると思ったんですが、警の3のところ、警の2の既定予算に対する補正額に対し、警の3一般警察活動費の補正額が、既定予算に対してよりもちょっと額が大きい点について、内容を教えていただければと思います。

清水会計課長 今回、警察本部でお願いをしております電気料金につきましては、警察署等の庁舎に関するものに加えまして、交通安全施設に関するものでございます。

このうち、委員御指摘の警察活動費の高騰分3,927万1,000円につきましては、内訳としまして、交通安全施設の電気料の高騰分が3,500万6,000円、高速道路交通警察隊の庁舎分が426万5,000円という内訳になっております。

今回、計上いたしました活動諸費につきましては、電気料金のもととなる部分ではございませんでして、新たにこの項目に対して不足分を増額したということでございます。

小越委員 総の4、庁内管理費1億1,721万4,000円ですけど、たしか6月補正か9月補正のときに、庁舎管理の電気代高騰分を、幾らか充てたと思うんですけども、そのときの見込みをもう超えてしまったのか。たしかその時は、契約している電気会社が倒産してしまっただけで、東電に変えなくてはならないから、その分が上がったと。

その時の話とこの整合性がどうなっているのか、説明をお願いします。

今井庁舎管理室長 6月補正で、委員御指摘のとおり、最終保障供給契約により、電気供給を受けることになったことに伴いまして補正したものでございます。

その後、通常の電気料金が、この最終保障供給料金よりも高くなるという逆転現象が生じたということで、この最終保障供給料金の見直しが行われ、9月から新たに市場価格に連動した市場価格調整単価というものが導入されたことに伴いまして、既定予算が不足するという事になったため、今回増額をお願いするものでございます。

小越委員 ですから、市場価格っていうことは、この1億1,721万4,000円は既に足りないのか。今現在足りてないのか、それとも、1、2、3月の分だけなんですか。

今井庁舎管理室長 今回改めて積算したところ、11月分までは6月補正後の現計予算で賄うことができますが、12月分以降につきましては、今回お願いする補正予算で対応していく予定です。

小越委員 総の1ページ、先ほど私は、本会議の質疑でも聞いたんですけど、今日この資料を朝見たので、わからなかったんですけど、地方交付税が36億円来ると事前に聞いていたんですけど、今日朝見たら、26億円ということでびっくりしたんです。残りの10億円はどこに行ったんでしょうか。

高橋財政課長 地方交付税につきましては、歳出予算における必要な一般財源の額を予算計上するものでございますので、残余つまり追加交付される36億のうち、今回計上している以外

令和4年12月定例会総務委員会会議録
の部分については、2月補正で財源更正を図ってまいりたいと考えてございます。

小越委員 総務委員会関係のところには、別に反対するものはないんですけども、グリーンゾーンプレミアムところについては、私はコロナ対策に名を借りた海外富裕層政策だと思いますので、全体の補正予算に私は反対ということを表明だけしておきます。

古屋委員 全体的にちょっとお聞きしたいんですが、それぞれ警察本部、あるいはスポーツ関係施設、県庁本庁含めた各施設の電気料金の値上げについて、今回予算が提案されているんですが、それぞれのところでの節電対策は、どのように考えているのかお聞きします。

清水会計課長 警察本部におきましては、節電対策としまして、昼休み時間帯の消灯、コピー機やプリンターの節電モードの設定。また、使っていない部屋の確実な消灯など、地道な節電対策に取り組んでいるところでございます。

また、中長期的な対策としまして、令和7年度までに、警察施設の照明につきまして、原則100%のLED化を実現するため、現在調査を行っているところでありまして、令和5年度以降に設計工事を行う予定で進めているところでございます。

渡辺スポーツ振興課長 緑が丘スポーツ公園、それから飯田野球場、八代射撃場につきましても、部分的なフロアの消灯とか、それから管理部門においては、コピー機とか、そういったところを小まめに電源を切るなどして、節電対策を行っておるところでございますけれども。県民サービスの低下につながらないよう、そこのところは、現場をよく見て、節電対策をしていると聞いております。

望月県民生活総務課長 やまなし地域づくり交流センターにおきましては、会議室の貸し出しが少ない日や貸し出しを行わない月曜日には空調室内機を集中管理から、個別管理に切り換えて、使用しない部屋の空調を切るように努めております。なお、空調室内機の設定温度につきましては、環境省が推奨する温度に抑えることを基本としております。また、使用しない会議室、あるいはリフレッシュコーナーの照明を小まめに切るようにしております。利用者の利便性を損なわない範囲内で、電気料の削減に努めているところでございます。

宮下男女共同参画・共生社会推進監 当官所管の男女共同参画推進センターにおきましても、使っていない会議室の空調ですとか、照明におきまして、節電等を行っているところでございます。そういったことにつきましては、センターの職員とも月1回の定期的な会議等で申し合わせをしているところでございます。

鎌田リニア未来創造・推進課長 当課所管の県立リニア見学センターにおきましても、平時からセンタースタッフルーム内、昼休み時間帯等の消灯、またコピー機を節電モードにして、日々、節電に努めている状況でございます。今まで申し上げた施設と同じように、利用者の利便性を見ながら、その辺は取り組みを進めているということで、また定期的に、実際私もセンターを訪れまして、節電対策につきましましては、電気料高騰への対応など、いろい

令和4年12月定例会総務委員会会議録
る要望もあるわけですが、しっかり節電の方も取り組みを徹底するように、指導等させていただきます。

高橋財政課長 今各担当課長からさまざまな御説明を申し上げましたが、地道な節電の努力に加えまして、根本的な対策ということで、まずはLEDの導入をきちんと進めていくことが、電力量の削減としては一番大きなものだと考えてございます。

財政当局としても、その電気料の高騰というのは、基本的には全て一般財源負担でございますので、非常に憂慮している状況でございます。LED化を速やかに進めていくということを、環境・エネルギー部とも連携を進めているところでございまして、現在、令和7年度までに、県有施設については原則100%LED化をする目標で進めてございます。

本庁舎については、大部分で導入が完了してございますし、知事部局の出先機関については、今回LED化の設計に向けた事業費を前倒しで計上して速やかに進めているところでございます。

また学校、警察関連施設については、現在、導入に向けた調査を行っておりまして、令和5年度以降に設計工事を行いまして令和7年度の完了ということで目指してまいりたいと考えてございます。

古屋委員 ぜひ節電をしっかりやっていただいて、この値上げが県民の、例えば、スポーツ施設あるいは他の部分で、利用に影響が出ないようにしっかり取り組んでいただきたいと思います。

討論 なし

採決 採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

その他 ・本委員会が審査した事件に関する委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

総務委員長 卯月 政人